

江戸名所之絵
鋏形紹真 1803年刊

心を空に飛ばして描いた



江戸の東の空（現在のスカイツリーがあるあたり）から見渡した図です。このような図のことを「鳥瞰図（ちょうかんず）」といいます。現在のように航空写真などなかった時代に想像で描いているため、地図のようにこれを頼りに街歩きはできませんが、江戸の名所を立体的に眺めることのできる大変面白い資料です。日本橋付近の繁華街、現在の市ヶ谷から上野にかけてのエリアが、とくにくわしく描かれています。

View of Edo City,
illustrated by Kuwagata Tsuguzane,
1803

This bird's-eye view of Edo's landscape was imagined without aerial technology. We can look from the east sky at what is now Tokyo, and see areas such as Nihonbashi, Ichigaya and Ueno painted in detail. Roughly from the same height today, the city can be viewed by ascending Tokyo Skytree.



えど めいしょ の え
江戸名所之絵 鋏形紹真 1803年

昔の東京(江戸)はこんな街!



中央に見える大きな建物、
現在では何があるのかな?

ここは今の東京湾、よく見るとたくさんの船が行き交って、
いてとてもにぎやかだね!

この絵は、200年前の東京を今のスカイツリーがあるあたりから描いているから、
新宿や渋谷のあたりは描かれていないんだ。当時の新宿や渋谷はどんな
様子だったんだろうね。今のように当時もにぎわっていたのかな?



「シノハツノイケ」
て書いてあるね。
ここはどこだろ
う?

【誰が描いた絵?】
この絵は1803年に鋏形紹真(くわがたつぐさね)という人が描いた江戸の地図です。

【どんな地図?】
江戸の町を現在のスカイツリーがある場所の空からながめたように描いています。このように、まるで鳥の目線で描いたような地図のことを鳥瞰図(ちょうかんず)と言います。

【何が書いてある?】
この地図には、江戸の名所や名店の名前が書かれています。また、品川方面に太陽が沈んでいることから、夕方の風景であることがわかります。

【やってみよう!】
現在の東京駅や上野駅はこの地図のどこにあるでしょう。(絵の下の方を流れる大きな川は隅田川です。) 駒込も探してみよう!